

市長との対話集会開催記録

団体名	NPO 法人子育てネットワーク あすなろ	実施日	令和6年7月1日（月）
実施場所	鍛冶ヶ色児童館	参加人数	4名

【主な内容】

北名古屋市における子どもたちの将来に向けて

- ・ 児童遊園適正配置計画について
- ・ 第2次北名古屋市子ども・子育て支援事業計画の今後の方向性について
- ・ 沖村西部区画整理地区の交通安全対策及び防犯対策について



【対話内容（抜粋）】



参加者

昨年度の市民説明会で、児童遊園や運動広場の総量縮減に向けた話を伺いましたが、事業の進捗はどうなっているのでしょうか。代替機能の確保策が整った運動広場から、利用者、周辺住民、関係者等の理解を得た上で順次廃止とありますが、市内の公園の少なさを嘆く声の多い中、児童遊園を兼ね備えた児童館事業はその必要性を感じています。

現在、公園の利用状況などの把握を行い、全体的な公共施設の配置を含めて検討を進めているところです。ボールで遊べる公園がほしいという意見が多いため、現在、栗島小学校で校庭開放を試験的に行っています。

新たに広場の数を増やしていくことは財政的にも難しいので、既存の施設を友好的に活用するなど、柔軟に考えて対応していきたいと考えます。



市長



参加者

沖村地区では、工業団地の形成とともに、交通量が大変増えております。子供の交通安全対策は、どうお考えでしょうか。

確かに交通量が増えています。トラスコ中山が完成すると、そこで多くの地元雇用も生まれるので、より多くなることも予想されます。そのため、歩道整備や交差点改良など優先度の高いところから順次整備を行っております。危険箇所については、通行車両や歩行者に対する注意喚起も行い、地域住民の安全確保に努めてまいります。



市長